



エルフ女王の墮落

脚本：RERE
画家：DYLL

pixiv:103588592
Fanbox:tsfrere
Patreon:tsf_re
UniFans:tsfrere





女王陛下、
どうか
命だけは！

お願いします、ご慈悲を！
陛下が望むものは、
何でも差し上げますから！
何でもです！

いらぬ、この世に
吾が欲して手に入らぬ
ものなど存在せん。

やれ。

はっ！



吾が定めた律法に背き、
戦争を起こそうとは——
連れていけ、即刻処刑せよ。

吾が名はアイセレア——
この大陸で最も高貴で、最も強大で、
最も権勢を誇るエルフの女王である。



いや、自ら手を下すまでもない——
吾がただ一言命ずれば、
一国を消し炭にすることもできる。

吾は永遠の寿命と至高の権力を有し、
大陸全体を揺るがす無上の魔力を持つ。
吾が望めば、一人で大陸構図を塗り替え、
世界の秩序を書き換えることさえ可能だ。



女王陛下、
なんと
お美しい！

女王陛下、
どうぞ
お召し上がり
ください。

吾の美貌は誰一人として並ぶ者なく、完璧にして
決して衰えることがない。この世で最も美しい男たちでさえ、
進んで吾が傍らに仕え、忠誠を尽くす。
まさに、世の万物すべてが吾の手中にあると言えるだろう。



女王陛下、わたくし、もう出そつです！

フン、もう限界か？

最美たる男の肉体、あらゆる体位、淫らな饗宴——性愛の極致を吾は味わってきた。

お前が西の国で最も魅力的だと謳われた男か？では吾に仕えてみせろ、失望させるでないぞ♡

吾をもっと楽しませろ♡

んあ♡

もっと深く、もっと強く——極たる絶頂を味わわせてくれ！んああああ♡

女王陛下、あああああ！



女王陛下、至らないところはございますか？

果てしない歳月の中、あらゆる栄光と快楽を味わい尽くした吾は次第に世の全てが退屈で無味乾燥だと感じ始めた…

変わらぬ空虚を打破するため、七年前、吾は密かに狂気じみた計画を企てた。新鮮な刺激と愉悅を再び味わえるなら、どんな代償を払おうとも吾は厭わない。

そしてその計画の鍵となるのは——吾とはまるで正反対な存在、卑賤で汚らわしく、愚かで、短命、交尾のことしか頭にないゴブリン。



いや、お前たちはよくやってくれてる、続けるがいい…

今、吾が感じるのは、底知れぬ空虚と倦怠だけ…

グググ！

ギヒヒ！

パン！

七年前 吾は目ぼしい幼年ゴブリンを選び、その体内に宿る尽きぬ性欲を封印した。

グギヤ...?

その結果、彼は初めて本能を超え、理性的に思考する意識を得た。

理性を得た彼は、知識への渴望を抱き始めた。

他のゴブリンが性欲の発散に明け暮れる中、彼だけは隅で静かに人間の書物を読みふけた。

やめて...

二年前、彼は人間社会に溶け込むことに成功し、史上初の人間と平和に共存するゴブリンとなった。

善良で、穏やかで、その振る舞いはまるで本当に人間の一人だった。それすなわち、吾の計画が一步步ついに完成に近づいていることを意味する。

案ずるな、吾はただお前と二人きりになりたいだけだ

そして今、時は熟し——吾は彼を生まれ育った洞穴に連れ戻した。

吾は彼の封印を解いた——ものの数分で、彼は完全に暴走し、性欲に支配された下等な魔物へ帰するだろう。

彼の性欲は微塵も消失していない、ただ吾に抑えられていたのだ、一気に解き放せばそれはかつてないほど強烈で、狂おしいものとなる——これこそ、吾が待ち望んだものだ！

——そして今、吾の偉大な計画の終着点であり、最も狂気じみた始点がやってくる！吾は自ら進んでこの卑賤なゴブリンと身体を交換するのだ！この禁忌の術はこの世で吾だけが使える、一度成立すれば、決して元には戻れない！

素晴らしい！吾はついに果てしない空虚を脱し、新たな生を得るのだな！

これより、ゴブリンは吾の高貴なる女王の身を手にし、吾はその汚らわしく、醜い、性欲に支配された肉体の中に入る——墮落して、足掻いて、原始的で、穢れた、下劣で、混沌とした快楽と苦痛を味わうのだ！——これこそが吾の渴望した新生！これが吾、アイセラが自ら選んだ未来！

グガアア
ガアアア！

ガギ...?
ガウ...?

吾の身体が：目の前にある：
入れ替わりが成功したのか！

入れ替わったばかりで、
すでに弱さ、汚らわしき、
不快感、頭の鈍さ、そして
言葉にできない強烈な衝動に
見舞われている…！

これがゴブリンの性欲か！
なんと下品で、卑屈！
だがその強烈さは吾の
理性を呑み込むほどだ！
だがまさにそのおかげで
何万年の空虚がようやく消えた！
その代わりに身震いするような
興奮と狂喜が押し寄せてくる…！

状況が
分かってない
ようダナ？

あ、
ああ…！

吾が完全に理性と
知力を失う前二—
お前を、雌として、
吾が犯してヤル！

うっ、
うう…

吾の強大で完璧な肉体が、
こんな無力な表情を見せるトハ…
なんと興奮する光景ダ！

サア！口を開ケ！
吾のチンポを啜えヨ！

うぐう…

フン、お前の
意思など知らん！
さっさと吾に従エ！

ソウ！その
調子ダ！

この汚らわしい
器官の快感ヲ、
吾に存分に味わ
わせるノダ！

ハアア！
ギヒヒ！

素晴らしイ！
なんとたるシフク！



アア!もつと力を込メロ!
もつと激しくするノダ!

ムツ...?
この感ジハ...!?
来ルツ!?

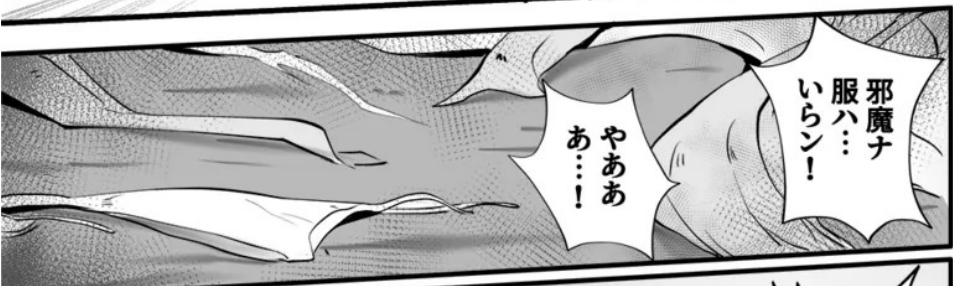
来ル!
来ルゾ!

ガアア...!
出ル!
出ルウウウウ!
吾射精スル...!

ゴブリンの下賤なニクヨク、
最高に気持ちイイゾ!ギヒヒ!

ぐうう
うう...!

ぐう
う...!



邪魔ナ
服ハ:
いらん!

やああ
あ...!



吾の知性が急速に
衰えているのが分かる...もうすぐ
吾は完全に本能に突き動かされる
ゴブリンに成り下がるだろう...!

ぐうう...



吾の至高なニクタイ...!
なんと美シイ...!
この香りも、じつにたまらナイ...!

ギヒヒ...!吾の余生ハ:
この性器と性欲に支配された
邪淫の快楽に溺れるノダ...!

この魅惑的な蜜穴:
興奮せずにはいられナイ...!
吾の視線:
全く離せナイ...!

はあ...
ああ...!



ぷあ
あ...!

ゲホ、ゲホ...!



ん、あああ
ああ♡

う、
うう！

ギヒ、
柔らかい……！

ギ、
ヒヒ……！

高貴なる
女王の器ヲ
どう味わうカ…
吾が教えて
ヤル！



下賤ゴブリン…
吾のマンコ…
絶頂シタ！
光栄、喜べ！
吾ノ身体、
吾ノ感度…
ゴブリン、数十倍！

はあ♡
ああ♡

んあ♡

んああ♡

やああ
ああ♡



ギヒ！次ハ—
吾、楽シム番！
存分ニ、思イツキリ—
犯シテヤル！ギヒヒ！

んう？

はあ♡

ギギギ！イイダロウ？
吾ノ至高ノ女体ハ！

んああ♡

ギヒヒ！挿入ツタ！
挿入ツタゾー！！

吾ノマンコ…キツイ、
ヌメヌメ…スバラシイ！
人生イチバンノ快感…！！

オツパイ！興奮！
舐メ尽クス…！！

穴！刺激！
犯ス…！！

ズ…

やああああ
ああああ

ギヒ！

助けて…！ううう…！
だめ、あああ…！
やああああ…！！

うう…痛い、
乱暴、やだ！

グヒヒ！

ギヒヒ！快感！

離して、
お願い…！！

モット！
モットダ！
止マラナイ
アアア…！！

どうして…？
僕がもう一人…？
お願い…やめて…！！

ギギギ！犯ス！射精！
ギヒヒヒヒ！！

ギヒ！

おかしい♥
なに…これ♥この感覚♥
んああああ♥

ギヒ！
ギヒヒ！！

ああ
ああ♥

熱い…！
深い…！
頭が…
おかしく
なる…！！

ギヒ！

ゲヒヒヒ！！
ギヒヒ！！

熱い♥痛い♥んああ♥
でも幸せ♥今までにない♥
欲しい♥もっと欲しい♥
もっともっと快楽を♥
んああああ♥





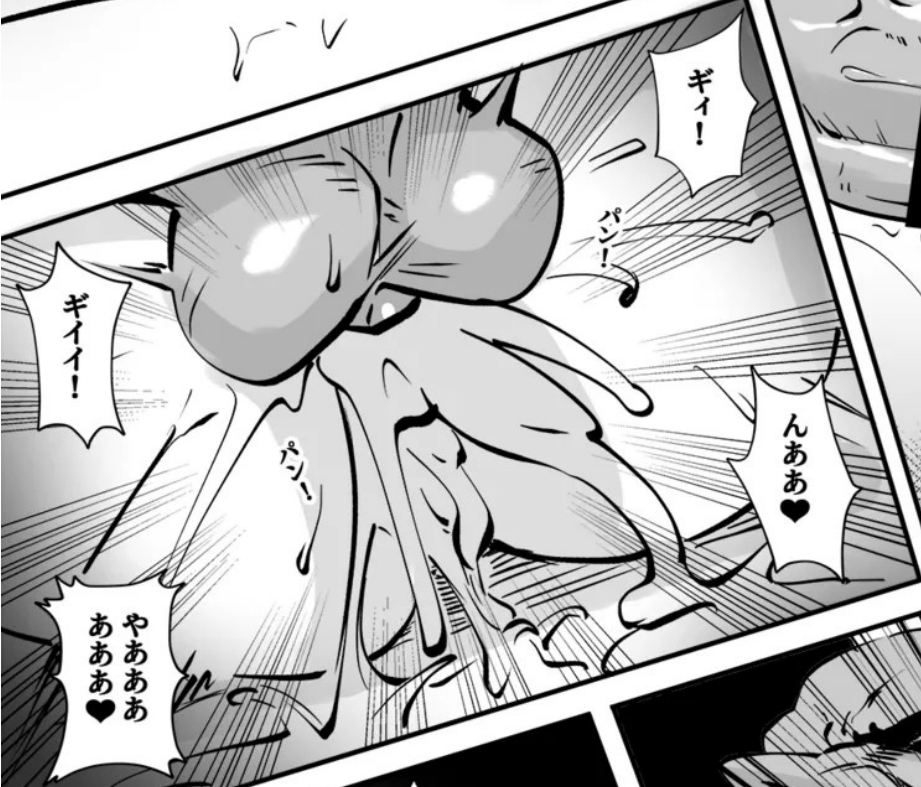
まだ、
続けるの？

グギギ！

濃い…♥臭い…
痛い、ダルい…
でも…幸せ…♥

はあ…

ああ…



ギイ！

びー！

ギイイ！

んああ♥

やあああ
あああ♥



ドロッ

ドロッ



ゲギキ！
グゴオー！！

んああ♥

もっと♥

ギビ！

パン！

ギビ！

止めないで♥

やあああ
ああ♥

んああ♥
ひやああああ♥

んああ
ああ♥

エルフの女王アイセラが、姿を消してからすでに三年、彼女の行方は依然不明で、大陸全体が動揺と混乱に陥っていた。

一方、とある暗き洞窟の奥深く、そこに棲むゴブリンたちはそんなこととは無縁であるかのように、始終邪淫で原始的な本能に溺れていた



神よ！
どうか！
救いを！

やあああ！

ギビ！

ギビ！

あんっ♡

あぁ♡

ギビ！

ギビ！

ギビ！

ギビ！

ギビ！

ギビ！

私を…楽に…
してくれ…！

ひゃああ♡

んああ♡

かつて大陸を統べていたエルフの女王の肉体は、今や強大な「母体」となり、尋常ならざるゴブリンを産み出し続けていた。彼らの勢力は拡大し続ける、洞窟のゴブリンは絶えず雌を略奪し、それを新たな苗床へと変えていく……

